旭区生江三丁目北部地域まちづくりビジョン

令和２年３月

旭区役所

＜目次＞

１.はじめに …… P. 2
２.旭区及び生江三丁目の現状 …… P. 2
⑴ 旭区及び生江三丁目の位置、現状 …… P. 2
⑵ 生江三丁目北部の市有地及び公共施設の状況 …… P.11
⑶ 生江三丁目北部地域のもつ強みや弱み …… P.12
３.平成 30 年 3 月策定「旭区将来ビジョン２０２２」…… P.13
４.生江三丁目北部地域の市有地活用方針案について …… P.14
５.土地区画整理事業の実施 …… P.15
６.サウンディングの実施について …… P.17
７.パブリックコメントの実施について……P.17
８.めざすべき姿について …… P.17
９.ビジョンの実現にむけて …… P.18

＜参考＞

「旭区生江三丁目北部地域まちづくりビジョンの策定」にかかる
意見公募結果の公表について… P.19

１．はじめに

大阪市旭区では、「旭区将来ビジョン 2022」（以下、「区将来ビジョン」という。）を平成 30（2018）年 3 月に策定し、旭区が「安心してすみ続けられるあたたかいまち」の実現に向け、「安心して子育てできるまち」「やさしさあふれるまち」「活力あるまち」「安全に暮らせるまち」を 4 つの柱として施策を進めているところです。

その中で、今回の対象となる、旭区生江三丁目北部地域には、昭和 30 年代より様々な公共施設が建設されましたが、事業終了等に伴う供用廃止や市営住宅の建替え・集約化が進むことにより、余剰地は合計約 16,000 ㎡となる見込みです。そのため、これらの余剰地の活用方針を示し、生江三丁目北部地域の魅力を向上させ、にぎわいを創出し、交流を促進するまちづくりを行う必要があることから、「旭区生江三丁目北部地域まちづくりビジョン」（以下「本ビジョン」という。）を策定するものです。

２．旭区及び生江三丁目の現状

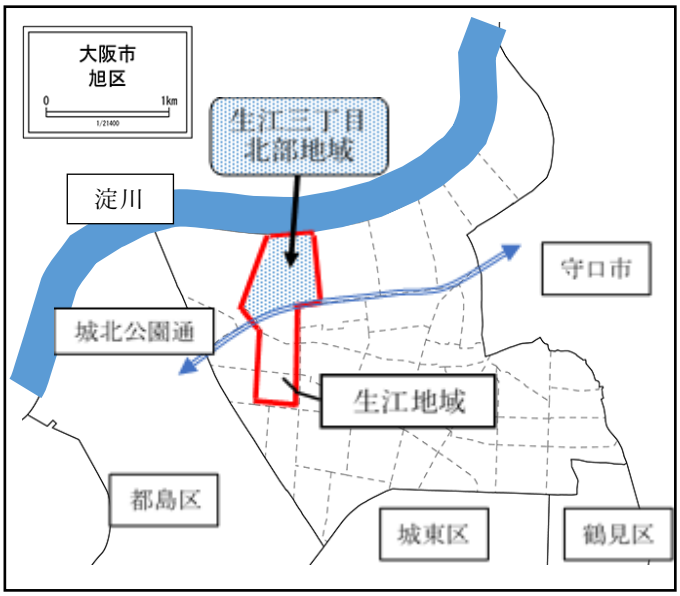
⑴ 旭区及び生江三丁目の位置、現状

旭区は、大阪市の北東部に位置し、北に淀川を臨み、西は JR おおさか東線（旧城東貨物線・平成 31 年 3 月 16 日開通）を挟んで都島区、南は国道 163 号線を挟んで城東区・鶴見区、さらに東は守口市とその境を接しています。

面積は 6.32 ㎢、人口は約 90,668 人、44,875 世帯(令和２年３月１日現在推計)を有しています。大阪メトロ谷町線、今里筋線や京阪電鉄が通り、また JR おおさか東線「城北公園通」駅が平成 31 年 3 月 16 日に開業し、利便性がさらに高まりました。また、大阪シティバスが大阪都心（梅田や天満橋など）と結んでおり、コミュニティバス（あさひあったかバス）も区内を循環しています。

市内でも有名な千林商店街の他、商店街が多くあり、交通が便利で、生活の利便性も高く、徒歩圏内に充実した教育環境が整い、静かで明るい雰囲気を持つ快適な住宅区域となっています。

生江地域は旭区の北西に位置しており、形状は南北に長く、中央部を横切る幹線道路「城北公園通」の北側に旭区最大の城北公園を有する、戸建てを中心とした閑静な住宅地域です。そして、生江三丁目北部地域には市営住宅や公共施設が多く整備されてきました。また、長きにわたり、住民主体により、人権尊重を中心においたまちづくりの理念に基づき、取り組みや情報発信が進められてきた地域です。

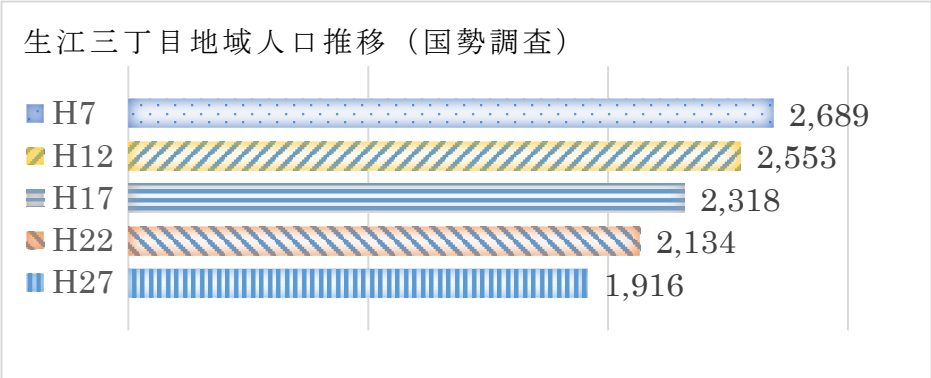

大阪市
旭区
0
1km
1/21400
生江三丁目
北部地域
淀川
守口市
城北公園通
生江地域
都島区
城東区
鶴見区

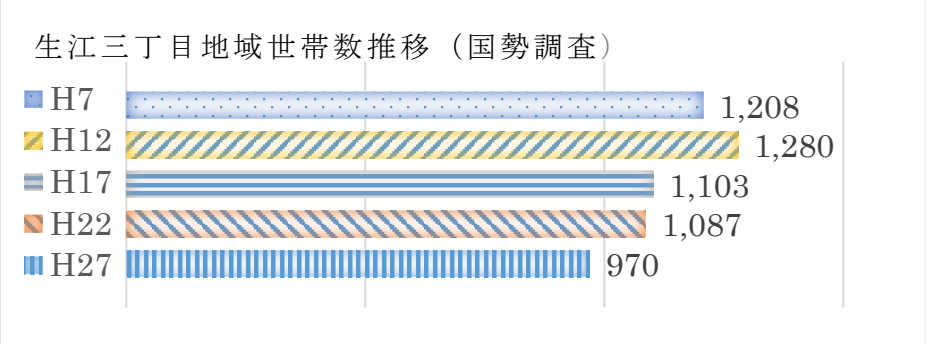
至　新大阪
淀川
JR おおさか東線
城北公園
至守口
都島区
城北公園通
至大阪
城北公園通駅

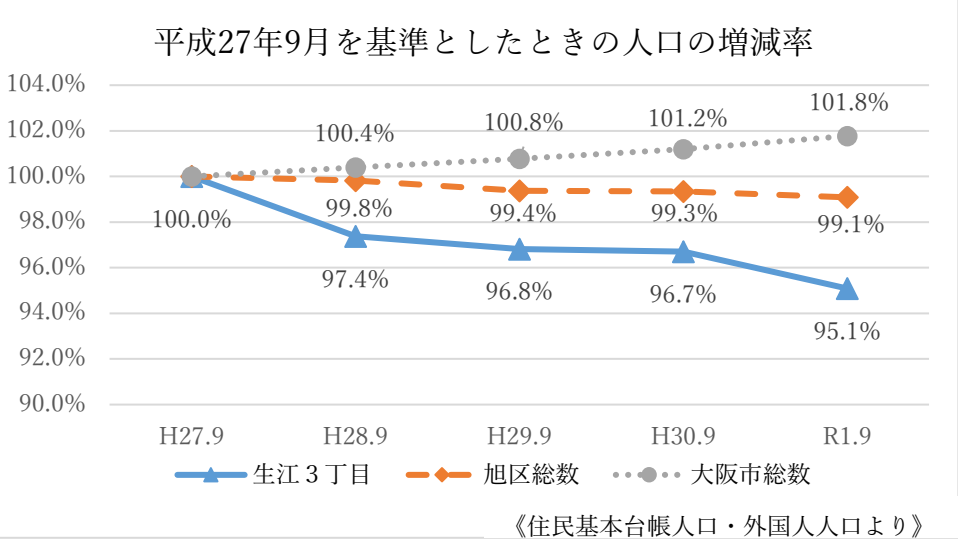
●人口・世帯数推移

旭区の世帯数及び人口推移をみると、平成 7 年国勢調査では人口 102,500 人、43,675 世帯となっています。以降、平成 12 年国勢調査で人口 99,231 人、44,426 世帯、平成 17 年国勢調査で人口 95,204 人、43,628 世帯、平成 22 年国勢調査で人口 92,455 人、43,842 世帯、平成 27 年国勢調査では人口 91,608 人、43,700 世帯と推移し、令和２年３月１日現在推計では、人口 90,668 人、44,875 世帯、1 ㎢あたりの人口密度が 14,346 人/㎢となっています。

生江三丁目の世帯数及び人口推移をみると、平成 27 年国勢調査では、人口 1,916 人、970 世帯となっており、人口では平成 7 年国勢調査と比して約 28%減、世帯数では平成 12 年国勢調査と比して約 24%の減となっています。



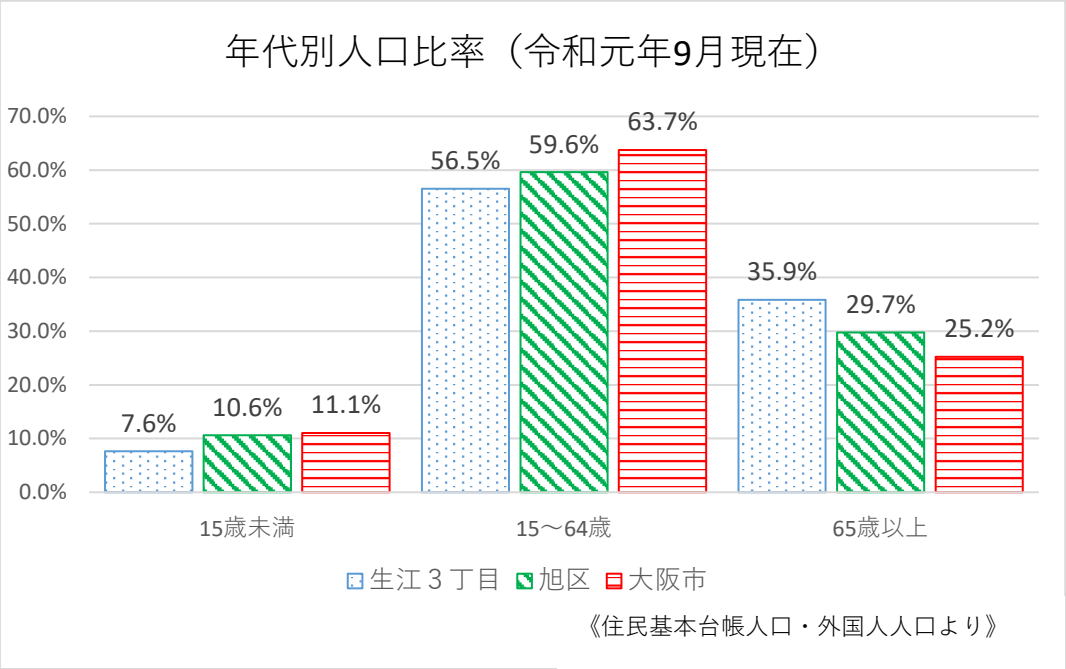




《住民基本台帳人口・外国人人口より》

●高齢化率

国勢調査で 65 歳人口が総人口に占める割合をみると、平成 22 年旭区で 26.2%、生江三丁目地域は 33.0%でしたが、平成 27 年では旭区で 29.4%、生江三丁目地域 38.9%と、ともに上昇しています。また、令和元年 9 月時点の年代別人口率では 65 歳以上の人口の割合は旭区総数の 29.7%に比べて、生江三丁目地域 35.9%と、依然として高い水準にあります。



●出生数・率

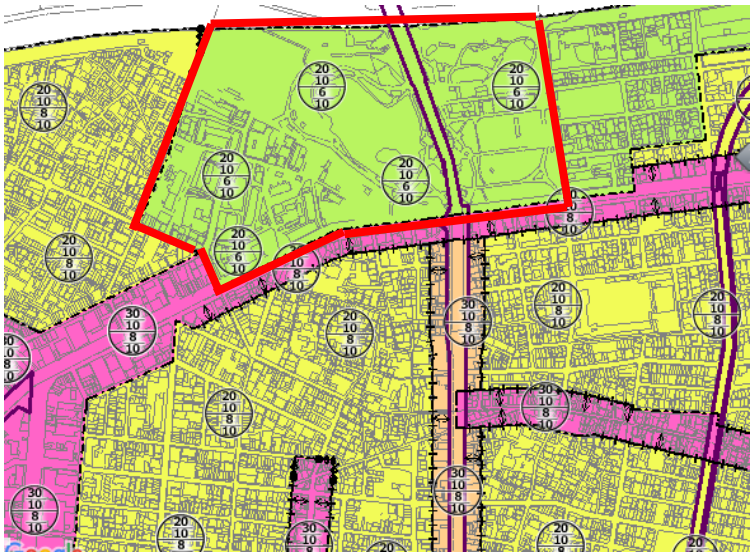
国勢調査で出生数・率をみると、平成 22 年旭区では出生数が 742 人、出生率が 8.0‰（‰：人口 1,000 人に対する割合（千分比））でしたが、平成 27 年には出生数が 703 人、出生率が 7.7‰と減少しています。

●用途地域

今回対象としている生江三丁目北部地域の用途地域は、第二種中高層住居専用地域となっています。

第二種中高層住居専用地域は、都市計画法による用途地域の一つで、中高層住宅の良好な住環境を守るための用途地域です。低層住宅に加え、4 階建て以上の中高層マンション、大学、1,500 ㎡までの一定の店舗（中規模スーパーなど）や事務所などが建築可能となっている一方、ホテル、旅館、遊戯施設・風俗施設（パチンコ店など）などは建設できなくなっています。

生江三丁目北部地域用途地域＜マップナビおおさか＞



都市計画関連　凡例

凡例（大阪都市計画のうち、次のものを表示している）	
第1種中高層住居専用地域	
第2種中高層住居専用地域	
第1種住居地域	
第2種住居地域	
準住居地域	
近隣商業地域	
商業地域	
準工業地域	
工業地域	
工業専用地域	

●公園

生江三丁目北東部には、本市が管理する旭区最大の公園である城北公園があります。

城北公園は、明治に行われた淀川付け替え工事で、空き地となった旧淀川の河川敷を利用して造られ、昭和 9 年に開園しました。

広さは約 95,000 ㎡で、大きな池や菖蒲園、大池をめぐる桜並木の散策路や梅林、遊具の丘などがあります。特に菖蒲園が開園する毎年 6 月頃には約 250 種／1 万 3 千株ものハナショウブが咲き誇り、多くの市民で賑わいます。

また、菖蒲園の開園時期にあわせて城北公園一帯を活用した集客イベントである「城北公園フェア」が開催され、区内外から 2 日間で約 54,000 人の方々にご来場（令和元年）いただきました。

隣接する淀川の堤防のすぐ下には、国が所管する淀川河川公園があり、湾処（わんど：河川沿いで水制などに囲まれ池のようになっているところ）が広がり、珍しい植動物たちが集まっています。特に国の天然記念物に指定されているイタセンパラの貴重な生息地となっています。

なお、城北公園周辺には民間のコインパーキングが複数散在しているものの公園利用者のための駐車場は整備されていません。

●子育て・教育

生江三丁目地域における子育て環境をみると、保育所・幼稚園では、地域内に市立の生江保育所が設置されているほか、近隣には金光寺保育園（約 600m）、赤川幼稚園（約 550m）、大宮幼稚園（約 1km）、あけのほし幼稚園（約 1.5km）があり、子育て環境には良好であると言えます。

学校施設をみると、生江小学校（約 800m）・大宮中学校（約 800m）の校区にあり、思斉支援学校（約 1.4km）、旭高等学校（約 1.6km）、常翔学園高等学校・

中学校（約 1.3km）、大阪工業大学（約 1.1km）があります。そのため、旭区内外から学生が集まっています。

また、地域主体でこども食堂が運営されており、地域でこどもを見守る意識が高い地域となっています。

生江保育所を起点とした主な学校園等への距離

●本市施設、市営住宅

生江三丁目北部地域においては、市民交流センター（平成 21 年度以前は「人権文化センター」、平成 11 年度以前は「解放会館」）や青少年会館、生江診療所をはじめとした市施設が整備され、人権、青少年等の課題の解決にむけ、様々な事業を実施してきました。また、多く市営住宅の建設も進められてきました。

しかし近年は事業の終了等により、市施設が順次供用廃止されているほか、市営住宅についても老朽化等による建替えなどが進み余剰地が生じてきています。

●福祉施設等

福祉施設では、地域内及び近隣に特別養護老人ホーム、地域在宅サービスステーションなどがあります。

●スーパー・商店街

日常生活に必要な食料品店では、近接していくつかのスーパーが営業しているほか、赤川商店街にも近く、また、あさひあったかバスで千林商店街などにも行くことができ、生活の利便性は高いと言えます。